

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
飯野 智子			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
浅川 達人		明治学院大学 社会学部 社会学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	MJGa-120805-0	15人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

ブライダル関連企業、若者に人気のファッション誌、セクシュアルマイノリティの方々に、若者、特に男性の恋愛、結婚とファッションについての意識と行動の変化についてインタビューを行った。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

ジェンダーと結婚・ファッションー男性の変化を中心に／ジェンダー論、男性学

2. 調査の内容／概要：

ブライダル関連企業、若者に人気のファッション誌、セクシュアルマイノリティの方々に、若者、特に男性の恋愛、結婚とファッションについての意識と行動の変化についてインタビューを行った。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

ツヴァ、オーネット...結婚相談所大手 テイクアンドギブニーズ...結婚式場運営、ブライダル産業新聞社...ブライダル業界唯一の業界紙/ストリート、東京グラフィティ...若者に人気のある、革新的な雑誌 メンズナックル、サムライELO...男性ファッション誌/セクシュアルマイノリティ...結婚産業の調査との比較のため

4. 主な調査項目：

結婚相談所...「婚活」の実態、男女の意識差、恋愛、結婚、人生設計に関する男性の変化
ブライダル関連企業...結婚式に対する意識の変化、結婚式の内容の変化/雑誌(ユニセックス)...ファッション、流行についての男女の意識差/雑誌(男性誌)...美容、ファッションに対する若年男性の意識と行動/セクシュアルマイノリティ...結婚制度について

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

企業は全て先方を訪問。1名あるいは2名の先方担当者にインタビューを行った。ICレコーダーに録音。1時間半から2時間半。セクシュアルマイノリティは先方指定の個人宅。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2012年8月から10月、全て東京都内。調査員は2名から8名

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収率及び回収率を必ず記入）：

ブライダル関連企業では、結婚相談所、結婚式場、業界紙と対象のバランスは良かったが、実際の利用者に聞いたらさらに良かった。雑誌は男性向けの人気雑誌にインタビュー出来たのは良かったが、読者モデルにもインタビュー出来たら良かった。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

インタビューの内容と文献で得られた情報を照らし合わせつつ、仮説の検証を行った。
また、得られたデータについては各担当で発表し、全体討論をし、どう解釈すべきか、どうまとめるべきか話し合った。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

結婚に対する意識や「婚活」に見られる男性の行動は、大きく変化しているとはいいがたい。しかし、結婚式の意味が変化する中で、式には積極的に関わろうとする男性は増えている。ファッションに関しては、「男っぽさ」を前面に出す雑誌においては、ファッションブルであることと「男らしい」ことは矛盾するものではなかった。「男性解放」の可能性を結婚とファッションから検証しようとしたが、ある程度はその可能性が見えた。

10. 報告書刊行の予定と概要：

社会調査実習報告書Vol.29。2つの班の調査をまとめ、検証したもの。